

令和3年9月 北九州市議会定例会

決算特別委員会 資料

危機管理室

令和3年9月市議会 危機管理室議案等について

1 令和2年度北九州市一般会計決算のうち所管分

(1) 危機管理室決算額

【歳入】

(単位 千円)

区 分	予算現額 A	決算額 B	予算決算比較 B-A
17款 分担金及び負担金	—	—	—
1項6目1節負担金	—	—	—
危機管理室所管分	0	880	880
19款 国庫支出金	—	—	—
1項3目1節消防費負担金	—	—	—
危機管理室所管分	950	0	△950
2項11目1節消防費補助金	—	—	—
危機管理室所管分	14,855	18,192	3,337
21 款 財産収入	—	—	—
1項3目1節基金運用収入	—	—	—
危機管理室所管分	61	15	△46
25款 諸収入	—	—	—
6項4目3節総務管理費雑入	—	—	—
危機管理室所管分	56,000	70,064	14,064
30節消防費雑入	—	—	—
危機管理室所管分	11,736	11,309	△427
26款 市債	—	—	—
1項11目1節消防債	—	—	—
危機管理室所管分	3,000	0	△3,000
合 計	86,602	100,460	13,858

【歳出】

(単位 千円)

区 分	予算現額 A	決算額 B	繰越額 C	不用額 A-B-C	執行率 B/A
12款 消防費					
1項5目危機管理費	206,767	118,157	44,000	88,610	57.1%
事業費	181,616	98,217	44,000	39,399	54.1%
被災地復興支援経費	25,151	19,940	—	5,211	79.3%
3款 保健福祉費					
7項1目災害救助費	—	—	—	—	—
災害救助基金積立金	61	15	—	46	24.9%
合 計	206,828	118,172	44,000	44,656	57.1%

(2) 主要施策と主な事業

① 防災対策強化経費	58,018 千円
------------	-----------

○ みんな de Bousai まちづくり推進事業【888 千円】

災害から命を守りぬくために、自ら命を守る「自助」意識の醸成や地域で助け合う「共助」の風土づくりなどによる地域防災力の向上を目指して、地区防災計画策定支援による地域の防災活動の活性化を図るとともに、地域防災の新たな担い手の育成に取り組んだ。

○ 被災者台帳システム整備事業【4,675 千円】

大規模災害時に備え、大量の罹災証明書の発行や、被災者に必要な各種支援の進捗を一元的に管理するシステムを導入し、被災者支援を漏れなく効率的に行うための環境を整備した。

○ 避難所における感染症予防対策【11,257 千円】

避難所における新型コロナウイルス感染症拡大防止措置として、消毒液等の備蓄物資及び発熱者等の専用スペースを確保するためのパーティションを購入し避難所の環境を整備した。

② 防災訓練経費	5,525 千円
----------	----------

○防災訓練（市総合防災訓練、区防災訓練）【5,521 千円】

大規模災害時に開設する「災害対策センター」の機能検証を行うため、「運営訓練（模擬訓練）」を実施した。

また、各地域の災害特性をふまえた住民参加型訓練を各区で実施した。

なお、市総合防災訓練、区防災訓練ともに、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮し、規模を縮小して実施（一部の区は中止）した。

③ 防災通信体制経費	29,332 千円
------------	-----------

○ 防災行政無線【13,681 千円】

沿岸部の住民等に対して、津波に関する情報を迅速かつ効果的に伝達する手段である防災スピーカーの適正な維持管理を行った。

④ 被災地復興支援経費	19,940 千円
-------------	-----------

○ 被災地復興支援事業【19,940 千円】※

東日本大震災の被災地である岩手県釜石市、平成28年熊本地震の被災地である益城町、平成29年7月九州北部豪雨の被災地である東峰村、平成30年7月豪雨の被災地である広島県坂町、令和2年7月豪雨の大牟田市及び熊本県人吉市に対し、復旧・復興業務を支援するため職員を派遣した。

※うち本市負担分 8,644 千円、職員派遣先自治体負担金収入分 11,296 千円